

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
テクニカル4 (Gt)											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	早川治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>学生個々が持つ身体的特性（指の長さや身体の大きさ）等に留意しながら、グルーブセッション形式で進行する。他の学生の演奏を自分ならどう演奏するか？と感じながら受けとめ、理解する。さらにそれを自分が演奏する場合はどのような音が出せるかを意識しながら、受講していただく。授業中の演奏だけではなく、世界的プレイヤーの演奏と自分の演奏を比較し、上級者も中級者も常に向上心を持って演奏技能を発展させることを目指す。</p>											
到達目標											
<p>グレード対応科目となっており、2年次はグレード16～20に準拠して授業が進行する。ハーモニックには1年次の基礎的なMajorダイアトニックコードから卒業し、テンションコード、ブルーススケール（ドリアン系・ミクソリディアン系・ペンタ系）、マイナーKeyでのアプローチ、をベースとし、リードシートを読み解きながら独自の演奏を行えるミュージシャンとしての応用力を技能として体得することを到達目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>楽器を演奏するには肉体動作を物理的にコントロールできることが不可欠です。楽器の構造や肉体の構造から鑑みた、合理的なプレイフォームを学びます。プロミュージシャンを想定し、アコースティックエレクトリック両方に対応できるギターのパッキング・フィンガリング・両手のコンビネーション、インプロヴィゼーションに対応できる自由度が高い奏法、バックイングのグルーブ感の増強、ブローケン・コード奏法を習得する。</p>											
成績評価方法											
<p>試験30%(試験と課題を総合的に評価する)、小テスト10%、提出物20%、成果発表（口頭・実技）30%(授業内容の理解度を確認するために実施する)、平常点10%(積極的な授業参加度、授業態度によって評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。CD、DVD等随時使用。											
回数	授業計画										
第1回	前期復習。Spainを前期に学んだテクニックで弾けるようにする。										
第2回	ピッキングテクニック (1) 後期グレードに備えて、TechnicalDifficultiesでオルタネイトピッキングテクニックを整理する。										
第3回	ピッキングテクニック (2) 後期グレードに備えて、エコノミーピッキングテクニックを整理する。										

テクニカル4 (Gt)

第4回	特殊スケール。グレード1 6 対応。メジャー&マイナースケール以外のスケールについての理解。
第5回	特殊スケール。グレード1 6 対応。メジャー&マイナースケール以外のスケールについての理解。
第6回	リードシート読解 (1) グレード1 7 対応。TheChickenに対してコード毎に7thスケールでアプローチ出来るようにする。
第7回	リードシート読解 (1) グレード1 7 対応。TheChickenに対してコード毎に7thスケールでアプローチ出来るようにする。
第8回	リードシート読解 (2) グレード1 8 対応。CantalopeIslandに対して独自のインプロヴィゼーションが出来るようにする。
第9回	リードシート読解 (2) グレード1 8 対応。CantalopeIslandに対して独自のインプロヴィゼーションが出来るようにする。
第10回	リードシート読解 (3) グレード1 8 対応。CantalopeIslandに対して独自のインプロヴィゼーションが出来るようにする。
第11回	ブロークンコード (1) グレード1 9 対応。コードの分散和音 (3和音タイプ、マイナー) を演奏できるようにする。
第12回	ブロークンコード (2) グレード1 9 対応。コードの分散和音 (3和音タイプ、マイナー) を演奏できるようにする。
第13回	ブロークンコード (3) グレード1 9 対応。コードの分散和音 (4和音タイプ、マイナー) を演奏できるようにする。
第14回	ブロークンコード (4) グレード1 9 対応。コードの分散和音 (4和音タイプ、マイナー) を演奏できるようにする。
第15回	全体のまとめ。

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
テクニカル4 (Ba)											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	加茂・高橋			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>個々に合った正しい姿勢（楽器の構え方）を身につけ、左手のフォーム、右手のフィンガリング、両手のコンビネーションをストレスの無い（手に負担の掛からない）奏法を習得することを目的とする。様々なビート（8ビート、16ビート等）でグルーブ感を養う。コード進行を理解して演奏し、読譜力を身につけていく。指板上の運指を研究し、音に表情のある表現力を学ぶことを目的とする。</p>											
到達目標											
<p>本科目はグレード対応科目となっており、2年次前期はグレード11～15に準拠して授業が進行する。基礎的な運指での基礎トレーニング。メイジャースケール、メイジャー・マイナーペンタトニックスケールからさらに発展させ、世界の代表的なGrooveをマスターし、リードシートを読み解きながら演奏を行うことのできるミュージシャンとして、基礎的な技能を体得することを到達目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>この授業では、学生個々が持つ身体的特性（指の長さや身体の大きさ）等に留意しながら、グループレッスン形式で行う。レジュメを使い運指を学び、読譜力を高める。グレードに対応させながらJazztuneやLattinStyleなどのコード進行や様々なビートを学ぶ。グレードの内容に応じてオリジナルのマイナスインCDやオリジナルの譜面を用いて授業を行う。</p>											
成績評価方法											
試験30%、小テスト10%、実技50%、平常点10%											
履修上の注意											
<p>この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	グレード11対応。1度と5度でSambaスタイルのベースラインを演奏できる。										
第2回	グレード11対応。1度と5度でRumbaスタイルのベースラインを演奏できる。										
第3回	グレード12対応。循環コードでWalkingLineBassを演奏できる。										

テクニカル4 (Ba)

第4回	グレード12対応。循環コードでWalkingLineBassを演奏できる。
第5回	グレード13対応。FlyMeToTheMoonをBossaNovaで演奏することが出来る。
第6回	グレード13対応。枯葉を2beatで演奏することが出来る。
第7回	グレード13対応。枯葉を4beatで演奏することが出来る。
第8回	グレード13対応。SpainをSambaで演奏することが出来る。
第9回	グレード14対応。FlyMeToTheMoonでアドリブ演奏をすることが出来る。
第10回	グレード14対応。枯葉でアドリブ演奏をすることが出来る。
第11回	グレード14対応。Spainでアドリブ演奏をすることが出来る。
第12回	グレード15対応。セカンダリードミナント7thを理解し演奏することが出来る。
第13回	グレード15対応。SubstituteDominant (裏コード) を理解し演奏することが出来る。
第14回	グレード15対応。分数コードのベースライン、分数コードのドミナント7thを理解し演奏することが出来る。
第15回	全体のまとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
テクニカル4 (Dr)											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	田原歩			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、インストラクター				
授業概要											
<p>本科目はグレード対応科目となっており、2年次後期はグレード16～20に準拠して授業が進行する。正しいセッティング、フォーム、スティックの持ち方から、基本的な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の音価を正しく理解し、また「休符を感じる」感覚を育て、オルタネイトスティッキングを習得し無理なく演奏できるようになる。またアクセントを自在に操れることで立体感、躍動感のあるドラムが叩けるようになる。</p>											
到達目標											
<p>楽器の構造や肉体の構造から鑑みた、ドラムを演奏する上で不可欠な合理的なプレイフォームを学ぶ。プロとして活動することを前提とし、様々な音符をスムーズに叩き分け、力みのない心地よいキレのある音色、ドラミングを目指し、またそれぞれのリズムの持つ特徴を理解して、その曲が求めているフィーリングを瞬時に見極めるスピードのある対応力を鍛え、人間味のある演奏力を身につけることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>学生個々が持つ身体的特性(手、指や身体の大きさ)等に留意しながら、グルーブレッスン形式で進行する。他の学生の演奏を自分ならどう演奏するか?と感じながら受け留め理解する。さらにそれを自分が演奏する場合はどのような音が出せるかを意識しながら受講する。授業中の演奏だけではなく、プロのプレイヤーの演奏と自分の演奏を比較し、上級者も中級者も常に向上心を持って演奏技能を発展させることを目指す。</p>											
成績評価方法											
<p>試験20%(授業内容の理解度を確認する)、授業内発表30%(技能、及び表現力を評価する)、提出物20%(知識及び思考力・判断力を評価する) 平常点30%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
教科書STICKCONTROL											
回数	授業計画										
第1回	4ウェイコーディネーションについての理解(1)/グレード16対応。両手両足をバラバラに動かすことができる。										
第2回	4ウェイコーディネーションについての理解(2)/グレード16対応。3連符の両足のオスティナート上で様々なフレーズが叩くことが出来る。										
第3回	4ウェイコーディネーションについての理解(3)/グレード16対応。16分音符の両足のオスティナート上で様々なフレーズが叩くことが出来る。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)

テクニカル4 (Dr)

第4回	4ウェイコーディネーションについての理解(4)/グレード16対応。サンバキックを使ったオスティナート上で様々なフレーズが叩くことができる。
第5回	ラテンスタイルについての理解(1)/グレード17対応。ソングの基本パターンが叩くことができる。
第6回	ラテンスタイルについての理解(2)/グレード17対応。クラベの音型を含んだアフロキューバンパターンが叩くことができる。
第7回	ラテンスタイルについての理解(3)/グレード17対応。カウベルを使ったモザンビークのパターンが叩くことができる。
第8回	ブラジリアンスタイルについての理解(1)/グレード17対応。基本のサンバパターンを理解し、叩くことができる。
第9回	ブラジリアンスタイルについての理解(2)/グレード17対応。パタフラフラを使ったサンバパターンが叩くことができる。
第10回	レゲエスタイルについての理解(1)/ワンドロップ、ミリタリアンビートの特徴を理解し、叩くことができる。
第11回	レゲエスタイルについての理解(2)/ハネ系レゲエパターンが叩くことができる。
第12回	アフリカンスタイルについての理解/代表的なアフリカンリズムを理解し、叩くことができる。
第13回	スウィングスタイルでセッション/グレード18対応。レガートを自由に考えて演奏し、セッションすることができる。
第14回	ラテンスタイルでセッション/グレード19対応。ラテンフィールを基にセッションすることができる。
第15回	初見の曲を演奏する

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
テクニカル4 (Key)											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	加茂・堀越			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>前期授業を踏まえ、楽器の構造や肉体の構造から鑑みた、合理的なプレイフォームをさらに習得する。プロミュージシャン（ピアニスト、キーボーディスト）を想定し、クラシック式フレーズから左右の各指の独立が出来るようにする。また、鍵盤間の距離を完全に体感し、自分の体の一部のように演奏出来るイメージを作り上げる。二年次は更に難易度の高いテンションコード等の演奏も学び身に付けることを目的にする。</p>											
到達目標											
<p>本科目はグレード対応科目となっており、2年次前期はグレード11～15に準拠して授業が進行する。AnyKeyのメジャー、マイナーダイアトニックコードを網羅し、自分が弾いている音階がきちんとイメージ出来るようになる。更にはsus4、dim、aug、テンションコードなど複雑なバックギンも苦手意識なく確実にマスターすることを到達目標とする。</p>											
授業方法											
<p>この授業では、学生個々が持つ身体的特性（指の長さや身体の大きさ）等に留意しながら、グループレッスン形式で進行する。他の学生の演奏を自分ならどう演奏するか？と感じながら受け留め理解する。さらにそれを自分が演奏する場合どのような音が出せるかを意識しながら受講する。世界的プレイヤーの演奏と自分の演奏を比較し、上級者も中級者も常に向上心を持って演奏技能を発展させることを目指す。</p>											
成績評価方法											
試験30%、小テスト10%、実技50%、平常点10%											
履修上の注意											
<p>この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	グレード16対応。コードネームに対してボイスギンを考えて演奏出来る。										
第2回	AnyKeyでのボイスギン、展開を変えて演奏出来るなど幅を広げて弾くことが出来る。										
第3回	与えられたコード進行に対して自分でテンションコードを付けて、更にボイスギンを考えて弾ける。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)

テクニカル4 (Key)

第4回	グレード17対応。自分でコード進行を8小節以上考えて弾くことが出来る。
第5回	ジャンル、雰囲気指定された状態で、それに沿うように自分でコード進行が考えて弾ける。
第6回	グレード18対応。まずはピアノソロがある課題曲を練習し、ソロの感覚をつかむ事が出来る。
第7回	いわゆるソロと呼ばれる以外にも、イントロやアウトロに使えるようなオブリも含めて弾くことが出来る
第8回	与えられたコード進行内で、自分でソロを考えて演奏する事が出来る。
第9回	グレード19対応。渡されたリードシートを理解し、他の楽器演奏にまぎってバックアップ出来る。
第10回	ピアノバックアップのみならず、エレピ等音色を変えて演奏し、またその意味も理解出来る。
第11回	グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで演奏出来る。無い場合は一緒に作成出来る。
第12回	オリジナルを作った終了ではなく、リハモなど改善の余地がないかどうか一緒に検討する。
第13回	アーティストを想定してオリジナル曲が作成出来る。またピアノアレンジもそのイメージに合わせる事が出来る。
第14回	こちらで一年間学んだ分の内容の課題を出し、それに対して演奏し復讐を行うことが出来る。
第15回	全体のまとめ